

一、爭議發生ノ場所

芝區新堀町ニ番地會社内

二、事業主側

名稱 日本計器製造株式會社
 代表者 取締役社長岡田亮之
 資本金 參拾五萬圓(四分三拂込)
 事業 ×イターノ羅針盤類製作
 企業系統 +
 使用勞働者 男六三名、女一名計 六四名

三、勞働者側

爭議參加者 男一九名(被解雇者)
 組合加入者 +
 庶 振 東弟金屬勞働組合 又 解雇セラルル職工

四、爭議發生ノ時

昭和五年五月三十一日

五、爭議發生ノ原因

會社ニ於ケル事業不振ノ為職工十九名又事務員七名ヲ解雇
 二名ヲ休職シタルニ因ル

六、要求事項並ニ交渉状況

(1) 事務員側ハ之ヲ承認シタルカ故工中、村田吉田外山ノ三名ハ
 他ノ被解雇者ト協議シ為合工場内ニ組織セシメ交友會幹部ノ
 支援ヲ求メ別記(1)ノ如ク復讐噴願書ヲ作成翌日(五月一日)
 代表者十名(内四名ハ交友會員)會社工場長ト會見右噴願
 書ヲ呈出セルニ工場長ハ更ニ之ヲ竹内取締役ニ諮リタルカ
 一應社長ト協議ノ必要アリトシ社長宛ニ於テ再協議ノ結果
 噴願ヲ拒絶スルコトニ決シ即日解雇代表者ニ此旨通告セリ
 (又)右拒絶ノ回答ニ據シタル從業員又被解雇者ハ再議ノ上別記